

令和8年10月1日
東北運輸局

「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を行います

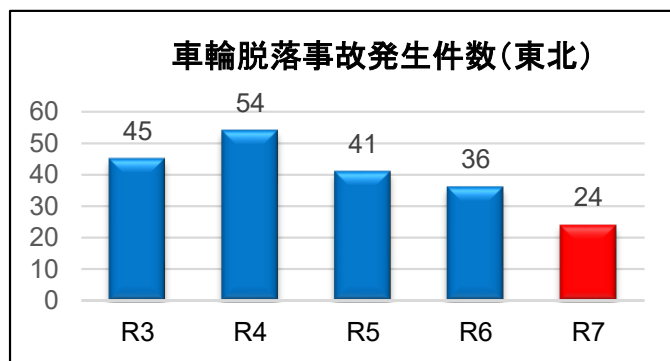
令和7年度の東北運輸局管内における大型車の車輪脱落事故発生件数は24件となり、前年度から12件減少しました。しかし、大型車の車輪脱落事故は重大な事故につながる恐れがあることから、東北運輸局では、さらなる事故防止に向け、NEXCO東日本等と連携した取組を含む標記キャンペーンを令和8年10月から令和9年2月まで実施します。

1. 東北運輸局管内の令和7年度大型車の車輪脱落事故※の発生状況

(詳細は「別紙1」参照)

- 事故発生件数は24件(前年度比12件減)
- 24件のうち、58%の14件が車輪脱着作業後1ヶ月以内に発生
- 事故車両は全て大型貨物自動車
- 車輪脱落箇所は左後輪に集中

※車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損又はホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

2. 大型車の車輪脱落事故防止キャンペーンの実施

車輪脱落事故の多くは、車輪脱着作業後1か月以内に発生する傾向を踏まえ、冬タイヤに交換する時期にあわせ、次のような取組を実施します。

【主な取り組み】

- 東北運輸局では、NEXCO東日本等との連携を強化し、高速道路において、車輪脱落事故防止に向けた啓発及び大型車のホイール・ナットの取付状況を確認する「街頭点検」を実施。また、SA等のデジタルサイネージを用いた啓発活動を実施。
- 一般道路においても、各運輸支局が大型車のホイール・ナットの取付状況を確認する「街頭点検」を実施。(詳細は下記各運輸支局へ問合せください。)
- 車輪脱落事故防止ポスター・チラシ(別紙2)を道の駅や自動車整備工場等に掲示し、車輪脱落事故防止の周知・啓発を実施。
- 自動車運送事業者や自動車整備事業者に対して、適切なタイヤ交換作業及び交換後の確実な保守管理が行われるよう研修を実施。



(令和7年度の街頭点検の様子)

〈各運輸支局の問合せ先〉

(音声案内後2番)

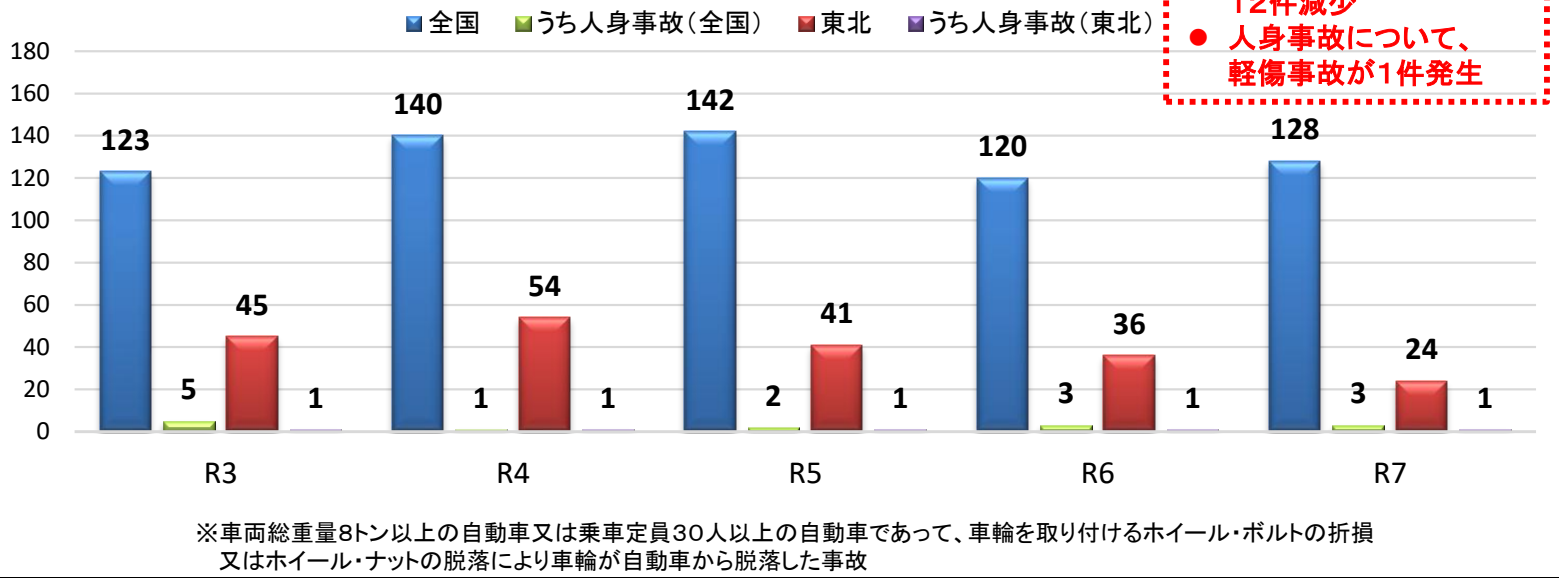
青森：017-739-1501 岩手：019-638-2154
宮城：022-235-2517 秋田：018-863-5811
山形：023-686-4711 福島：024-546-0345

〈問合せ先〉

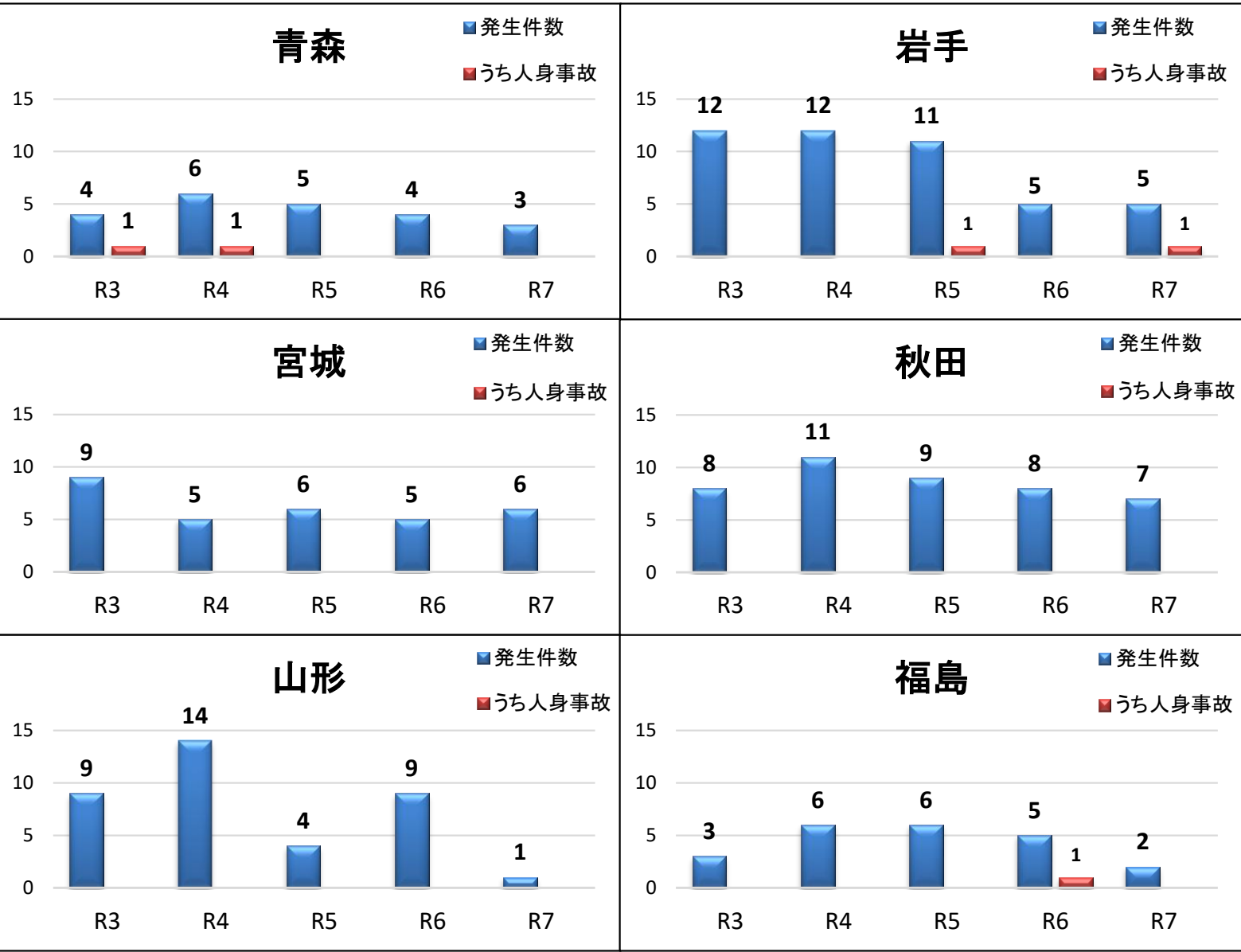
東北運輸局自動車技術安全部

整備・保安課 加藤、眞壁
保安・環境調整官 清野、木村
TEL:022-791-7534

大型車の車輪脱落事故*発生件数の推移



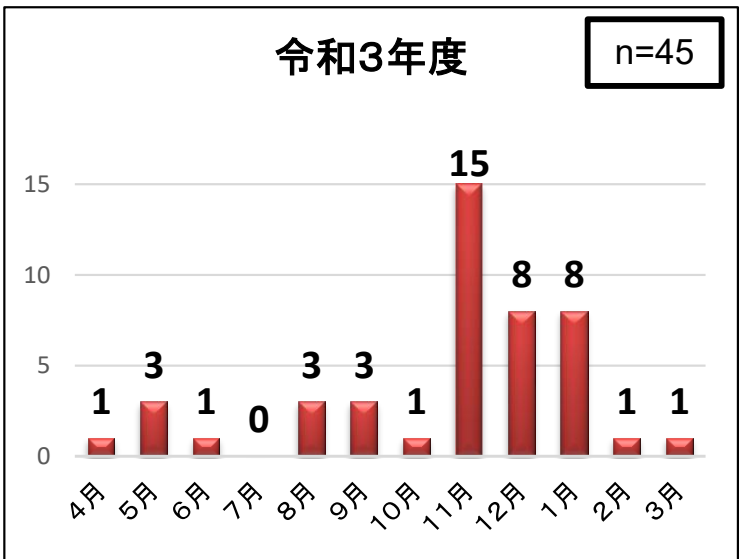
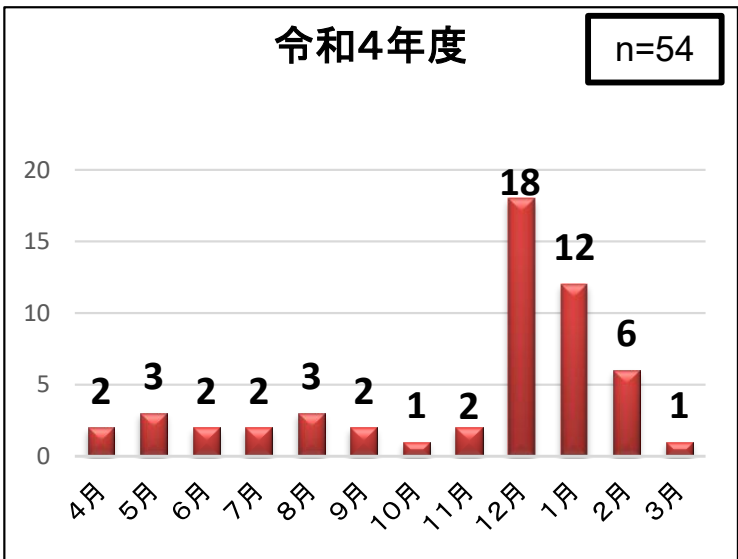
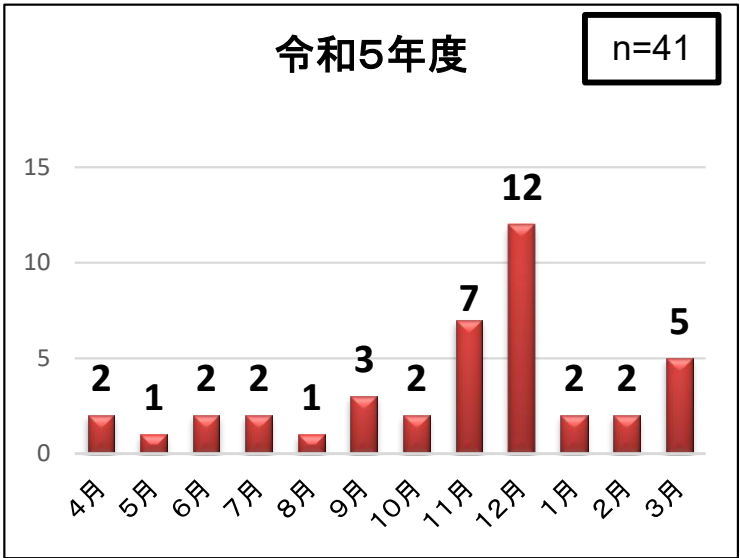
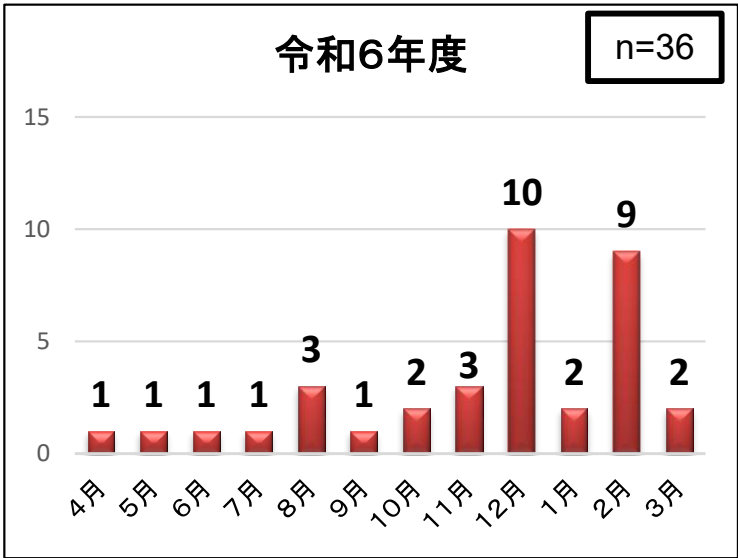
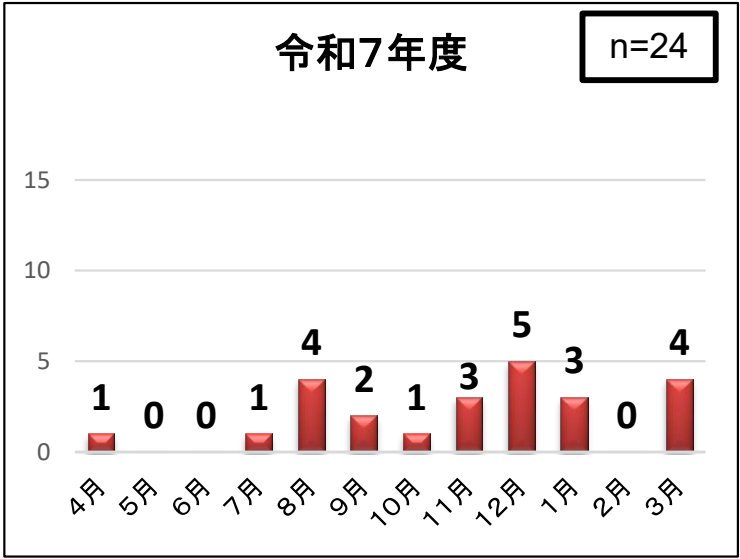
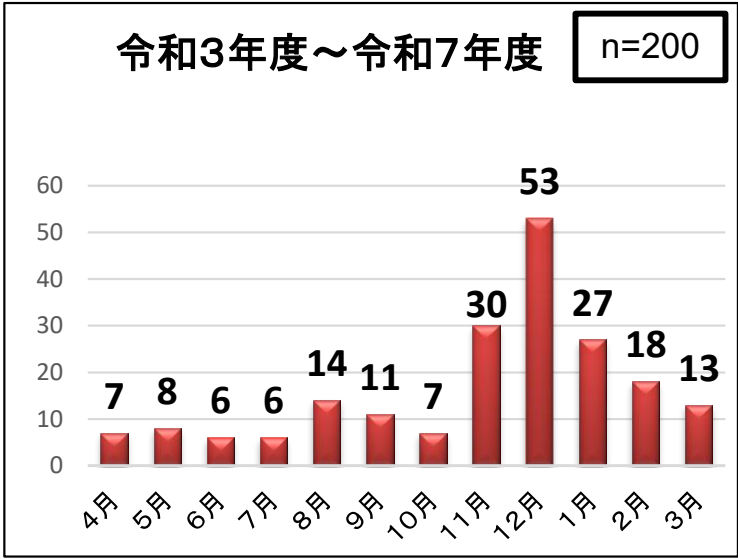
事故車両の使用の本拠の位置を管轄する支局別発生件数



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

東北管内月別車輪脱落事故発生件数（令和3年度～令和7年度）

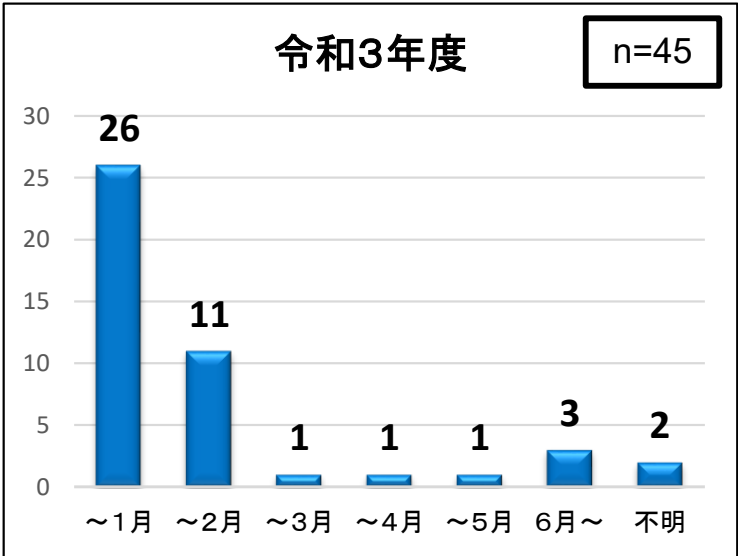
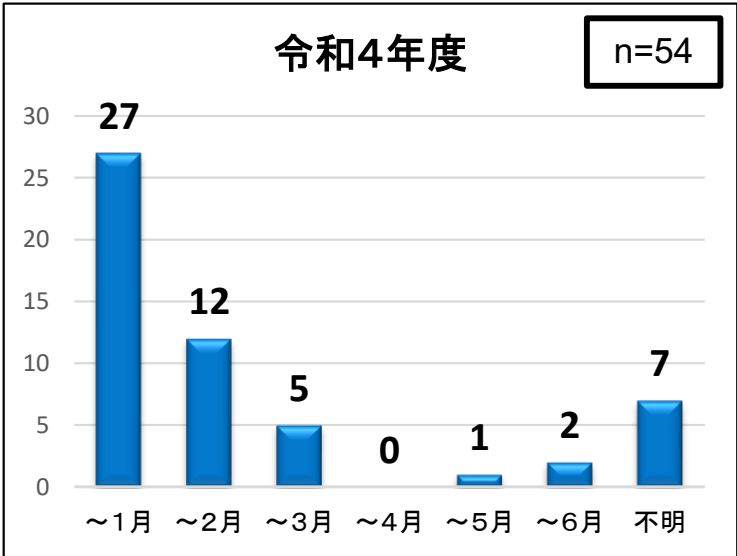
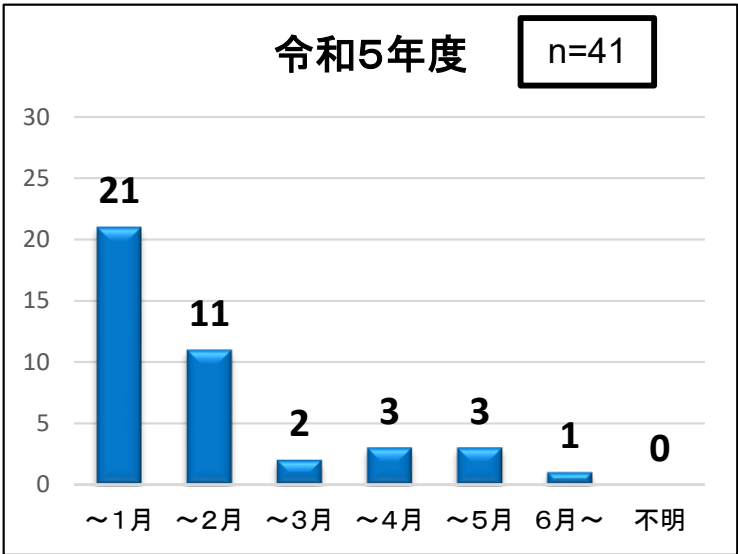
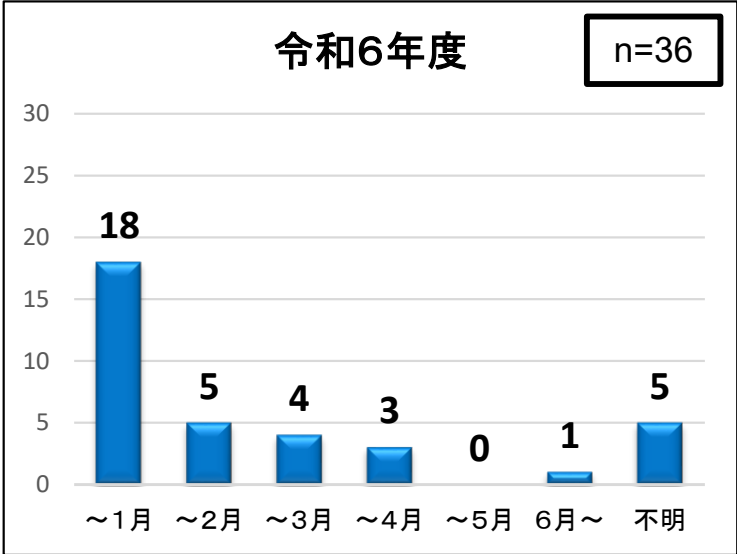
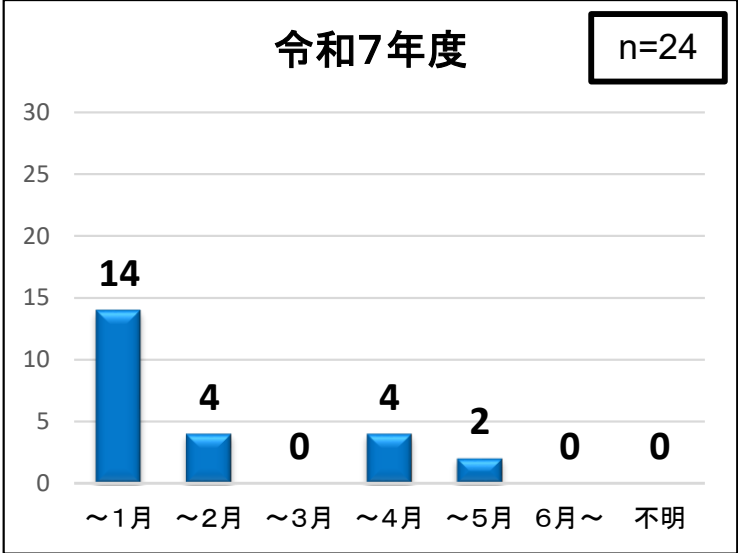
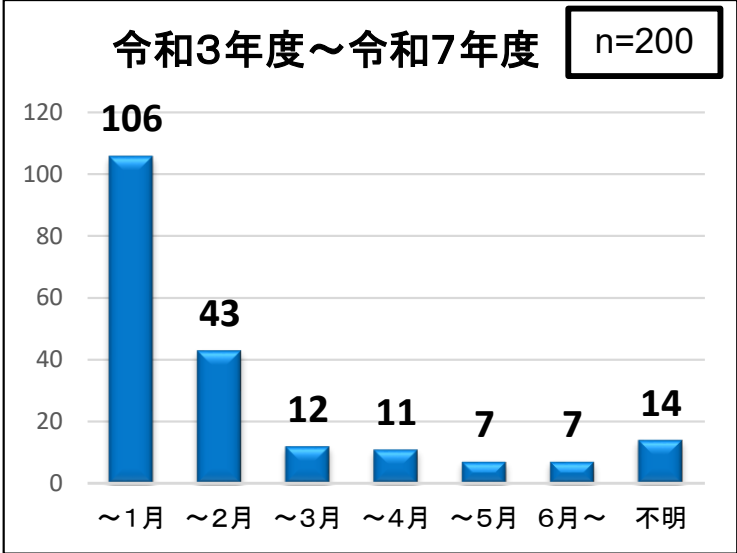
- 冬タイヤへの交換作業が集中する11月以降に多く発生する傾向が見られる



出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

車輪脱着作業から事故発生までの期間別件数
(令和3年度～令和7年度)

・ 脱落事故の発生車両については、車輪脱着作業から1ヶ月以内に多く発生している傾向が見られる



出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

業態別発生件数
(大型バス・大型トラック)

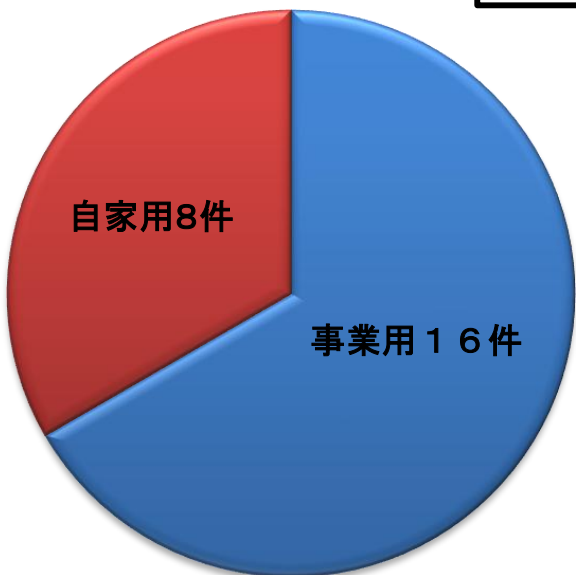
n=24



・ 全て大型トラックで発生している
大型バスは0件

事業用・自家用別発生件数

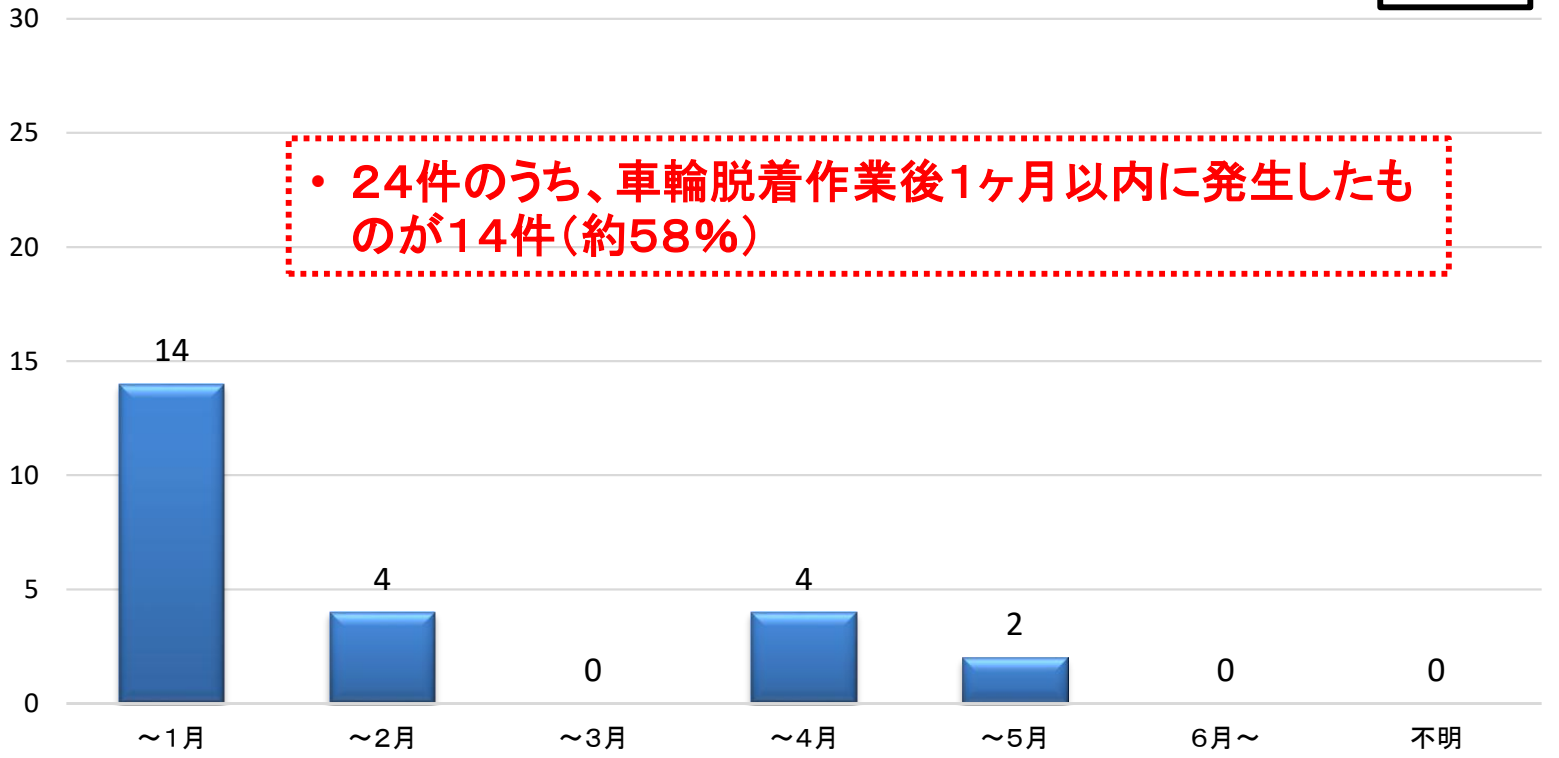
n=24



・ 前年度から事業用が9件減少

車輪脱着作業から事故発生までの期間別件数

n=24



・ 24件のうち、車輪脱着作業後1ヶ月以内に発生したものが14件(約58%)

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

月別車輪脱落事故発生件数

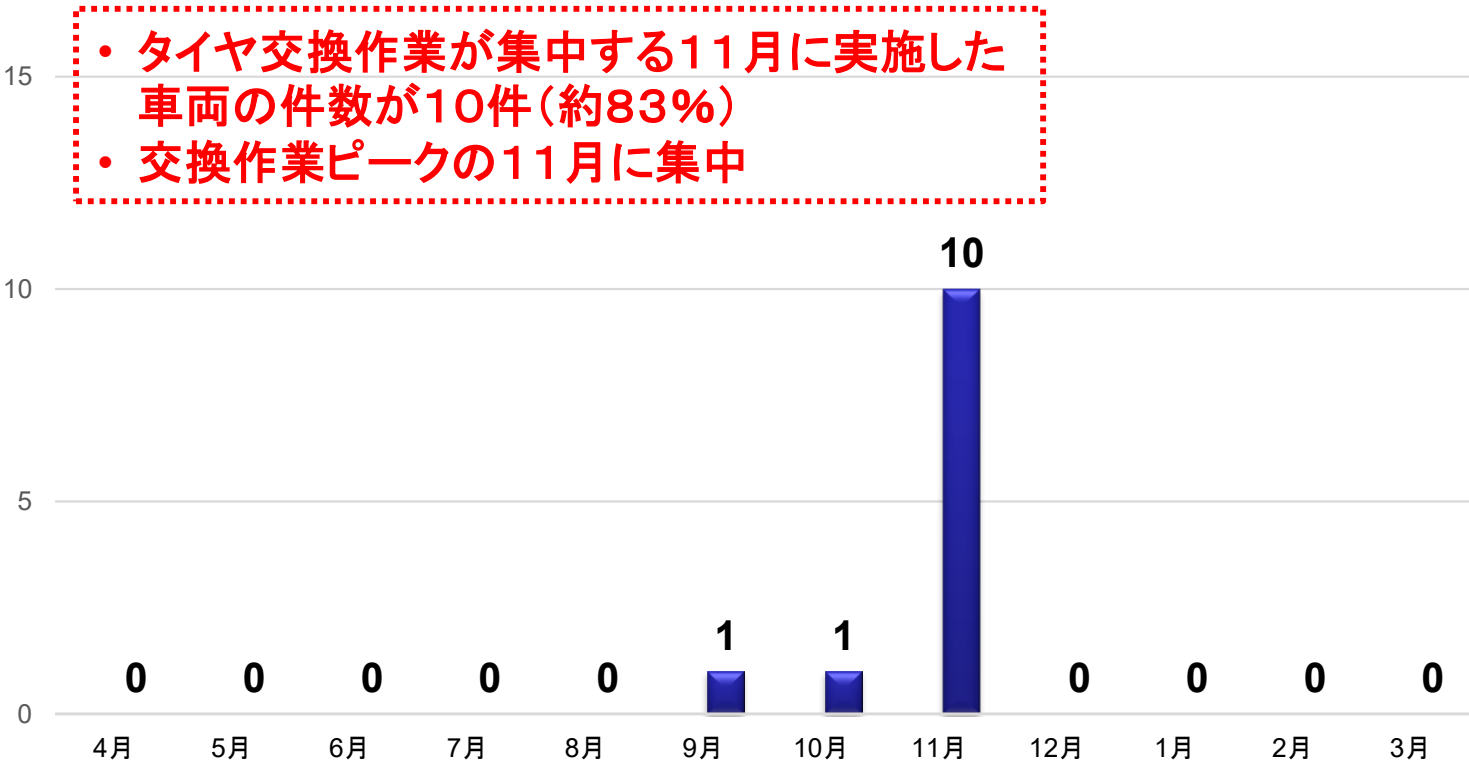
n=24



・ 24件のうち、11月～3月までの冬季期間中に15件(約63%)発生している

月別タイヤ交換実施件数
(タイヤ交換後3ヶ月以内に車輪脱落したもの)

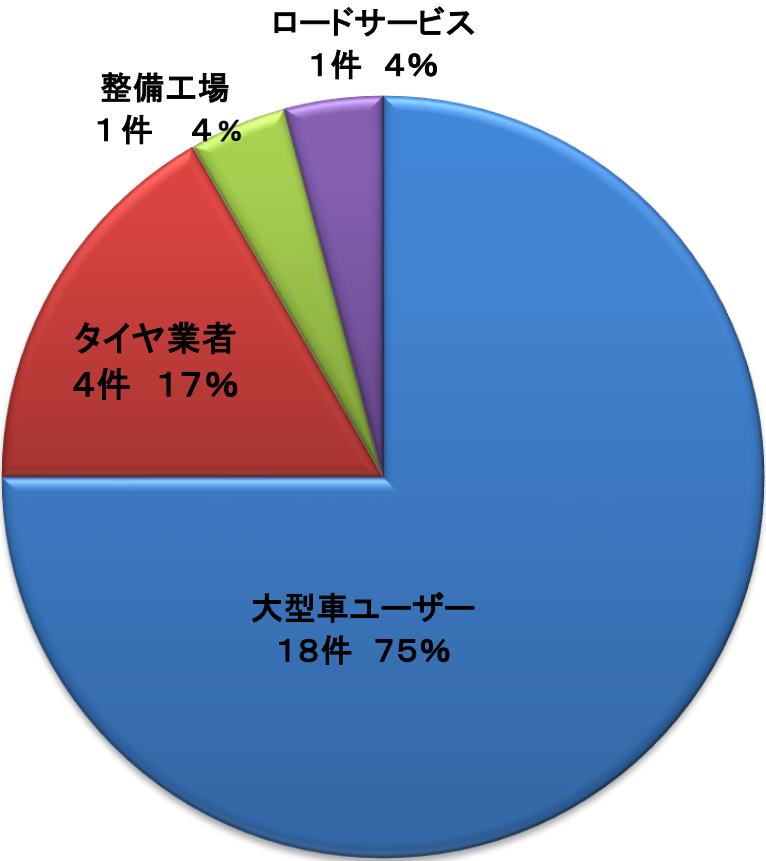
n=12



・ タイヤ交換作業が集中する11月に実施した車両の件数が10件(約83%)
・ 交換作業ピークの11月に集中

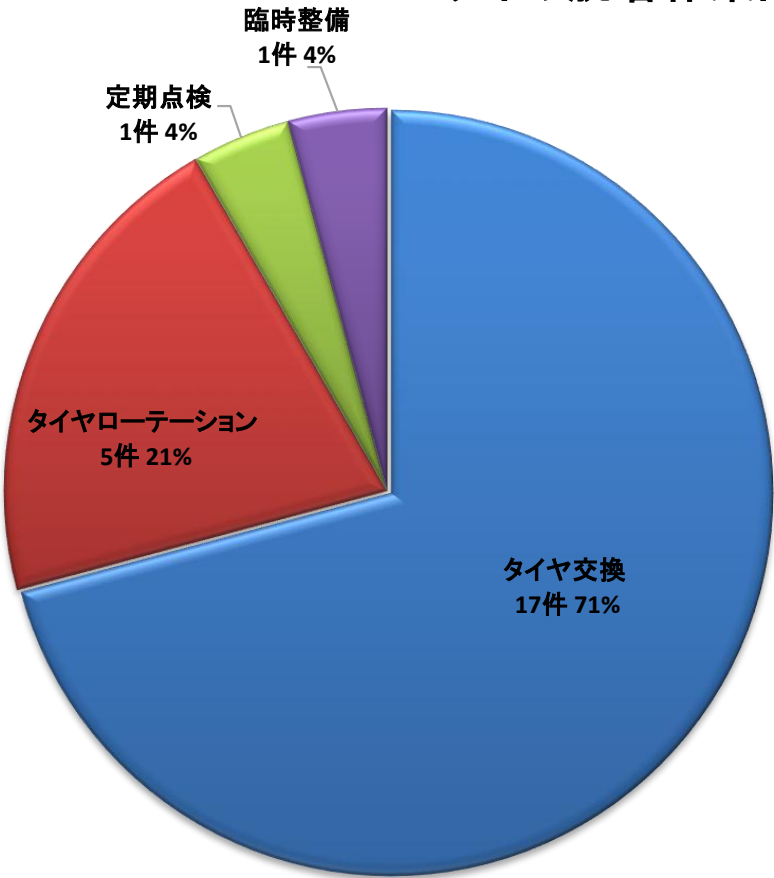
出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

タイヤ脱着作業実施者別



・ 大型車ユーザーの交換によるものが約75%を占める傾向

タイヤ脱着作業内容別発生件数



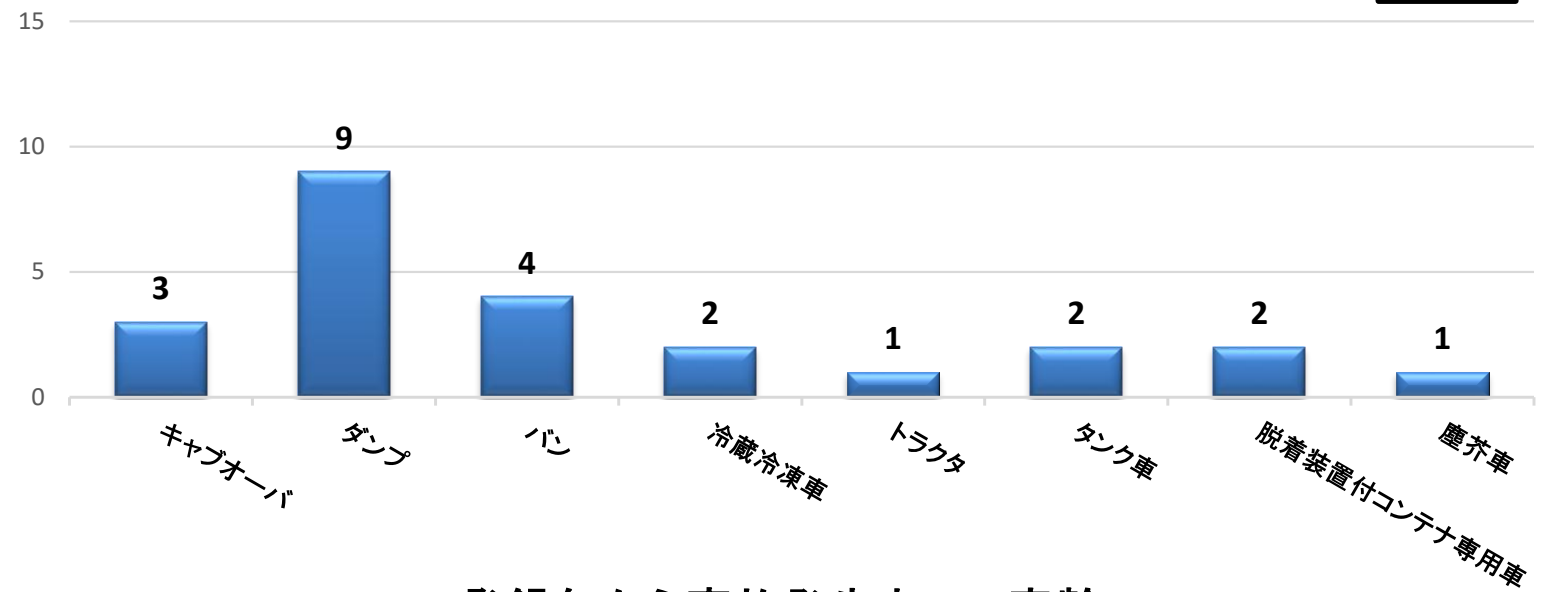
・ タイヤ交換、タイヤローテーションが大半を占める

- タイヤ交換
 - ・ 通常タイヤから冬用タイヤへの交換
 - ・ 冬用タイヤから通常タイヤへの交換
 - ・ パンクや摩耗したタイヤの交換など
- タイヤローテーション
 - ・ タイヤの摩耗が偏る事を防止するため、前後・左右のタイヤを入れ替える

出典：自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

車体の形状別発生件数

n=24



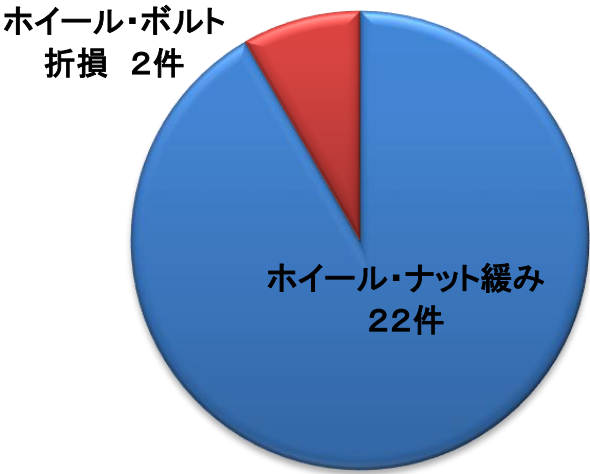
登録年から事故発生までの車齢

n=24



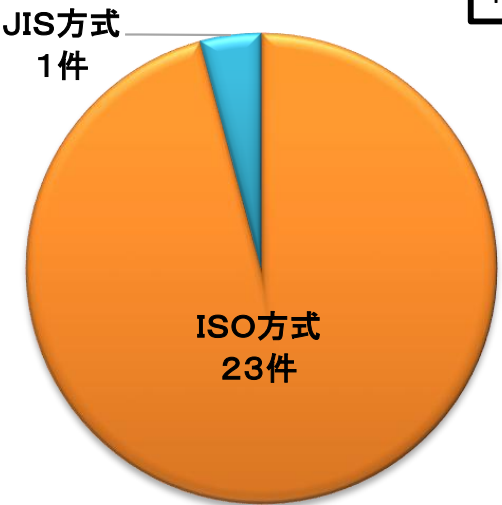
タイヤ脱落時の原因

n=24



締め付け方式

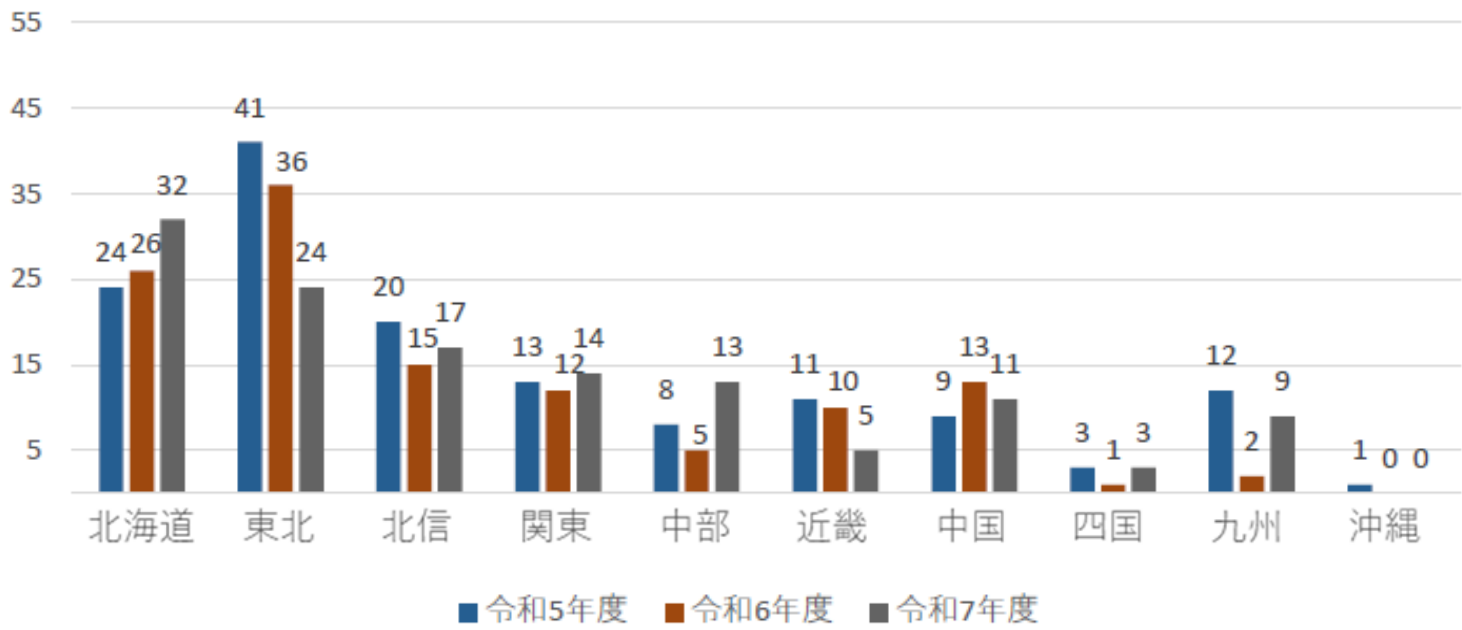
n=24



・ 大半はホイール・ナットの緩みによるもの

・ 大半はISO方式

過去3年間の使用の本拠の位置別推移



出典:自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

防ぎよう

大型車の車輪脱落事故

トルクレンチで
適正締め付

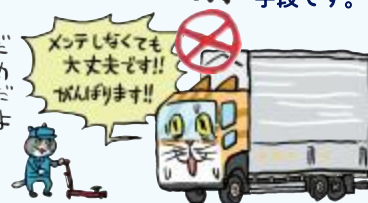
適正なトルクレンチによる規定トルクの締め付け、タイヤ交換後の増し締めの実施。

手クレンチで

おとさめ
ための
点検整備

事前の正しい点検が大きな事故を未然に防ぐ唯一かつ最善の手段です。

だめだよ

メンテしなくても大丈夫です!!
保証します!!と
お
さびたナットは
清掃・交換

まだ使える!!

もうあぶないですよ



ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブの取付面、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、追加塗装などを取り除きます。

この2つが特に重要!

事故の多くは清掃・給脂の不足が原因!

ナット・ワッシャー
隙間に給脂オイルぬって
くださる

はいよ



ホイールボルト、ナットのねじ部と、ナットとワッシャーもすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑油を薄く塗布し、回転させて油をなじませてください。

い
ち
に
ち
一
度
は
ゆるみの点検しまっ
ていっ
よう

運行前に特に脱落が多い左後輪を中心に、ボルト、ナットを目で見て手で触るなどして点検します。

©くまね工房

車輪脱落予兆検知装置を
取り付けよう!

ホイールナットの緩みなどによる車輪脱落の予兆を検知し、ドライバーに警報。事故防止と負担軽減に役立ちます。

※機能には限界があります。「おとさない」の徹底をお願いします。

詳しい情報は日本自動車工業会ホームページへ
http://www.jama.or.jp/truck-bus/wheel_fall_off/

国土交通省 自動車点検整備推進協議会 大型車の車輪脱落事故防止対策に係る調査・分析検討会 日本自動車工業会 (いすゞ自動車 日野自動車 三菱ふそうトラック・バス UDトラックス) 全日本トラック協会 日本バス協会 全国自家用自動車協会 日本自動車整備振興会連合会 日本自動車販売協会連合会 全国タイヤ商工協同組合連合会 日本自動車タイヤ協会 全国石油商業組合連合会 日本自動車車体工業会 日本自動車輸入組合 日本自動車機械工具協会 日本自動車機械器具工業会 自動車用品小売業協会 日本自動車車体整備協同組合連合会



タイヤ交換などホイール脱着時の **不適切な作業**

インパクトレンチだけで締め付け
錆びたナットを再使用
規定トルク未確認 など

が

原因で車輪脱落事故が発生しています。

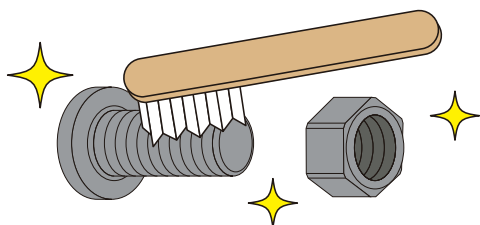
正しい車輪の取り扱いで 車輪脱落事故ゼロへ。



下記3つの注意点について、車載の「取扱説明書」などを参照し、正しい作業をお願いします。

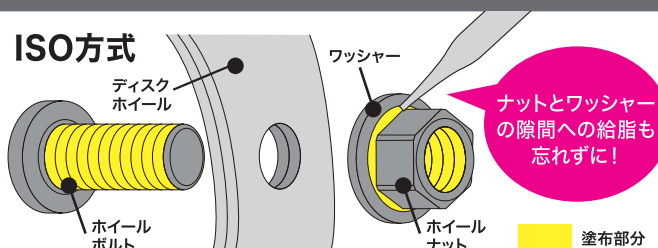
ホイール脱着作業の3つのポイント

1 ホイールボルト・ナット などを清掃・交換する



ディスクホイール取付面、ホイールナット当たり面、ハブ取付面 (ISO方式では、ハブのはめ合い部も)、ホイールボルト、ナットの錆やゴミ、泥、追加塗装などを取り除きます。錆び、亀裂、損傷が著しい場合は交換してください。

2 ホイールボルト・ナット などに潤滑剤を塗布



ホイールボルト、ナットのねじ部、ナットとワッシャーのすき間にエンジンオイルなど指定の潤滑剤を薄く塗布し、回転させて油をなじませます。ワッシャーがスムーズに回転するか点検し、スムーズに回転しない場合はナットを交換してください。
注) ナットの座面 (ディスクホイールとの当たり面) には塗布しないでください。

3 ホイールナットの締め付けをする

必ず規定の締め付けトルクで
締め付けを行ってください。

ホイールの締め付け方式には、球面座で締め付けるJIS方式と、平面座で締め付けるISO方式があります。また「排出ガス規制・ポスト新長期規制適合」大型車から、左右輪・右ねじとする「新・ISO方式」を採用しました。取り扱い方法をご確認いただき、適切なタイヤ交換作業の実施をお願いします。

ホイール締め付け方式	ISO方式 (8穴、10穴)
ホイールサイズとボルト本数 (PCD)	19.5インチ:8本 (PCD275mm) / 22.5インチ:10本 (PCD335mm)
ボルトサイズ ねじの方向	【M22】 左右輪:右ねじ (新・ISO方式) / 右輪:右ねじ 左輪:左ねじ (従来ISO方式)
ホイールナット 使用ソケット	平面座 (ワッシャー付き) ・1種類 / 33mm (従来ISO方式の一部は32mm)
ダブルタイヤ	1つのナットで共締め
ホイールのセンタリング	ハブインロー
アルミホイール履き替え	ボルト交換



アルミホイール・スチールホイールの取り扱いミスによる車輪脱落事故も発生しています。
アルミホイール ↔ スチールホイール組み換え時には、誤組み付け、部品の誤組みに注意してください。

詳しくはこちらの資料をご覧ください ▶ <https://www.jama.or.jp/operation/truck-bus/docs/Torque.compressed.pdf>

